

抗ヒト 有機アニオントランスポーター4(OAT4) ポリクローナル抗体

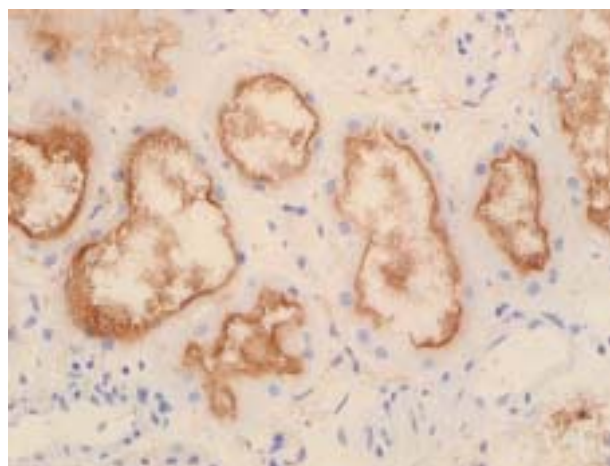
薬物及びその代謝物の膜輸送に關与する薬物トランスポーターは、基質認識の多様性等から、さまざまなトランスポーターに分類されています。特に、有機アニオン、同カチオン、両性イオンの3つのトランスポーターファミリーより構成される有機イオントランスポーターファミリーでは、輸送基質として極めて多種類の内因性、外因性有機物質(薬物や異物)およびその代謝物を含み、薬物の体内動態の理解には重要で、その輸送基質の多くは有機アニオンに属しています。

この中で、ヒトの有機アニオントランスポーター4(organic anion transporter 4:OAT4)は、550 アミノ酸残基からなる12回膜貫通型の膜タンパクで、エストロン硫酸やデヒドロエピアンドロステロン硫酸をNa⁺非依存的、高親和的に輸送し、さらにオクラトキシンA、PAH(-aminohippurate)の輸送も認められています。

OAT4は、ヒトの腎臓と胎盤に発現が認められており、胎盤に発現する有機アニオントランスポーターとしては最初のメンバーであり、胎児からの有害なアニオン性物質の排出に寄与しているものと予想されています。

本抗体は、免疫組織化学的な解析に有用であることが確認されています。

容量	20µg (200µL/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.1mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2% ブロックエース(安定化蛋白)、0.1% proclin 含有]
保管方法	-20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ヒト OAT4 の C 末ペプチドで免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	免疫染色: 1 ~ 5µg/mL



ヒト腎臓 (凍結切片)

尿細管基底膜側に陽性所見を示す

抗ヒト 有機アニオントランスポーター4(OAT4) ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Sekine T., Cha S.H., Kanai Y. and Endou H.:Molecular biology of multispecific organic anion transporter family (OAT family). *Clin.Exp.Nephrol.*3.237-243,1999
2. Sekine T., Cha S.H. and Endou H.:The multispecific organic anion transporter (OAT) family. *pflugers Arch-Eur.J.Physiol.*440.337-350,2000
3. Endou H.:Molecular mechanisms of drug transport.(薬物輸送の分子機序). *Folia Pharmacol. Jpn.* 116. 114-124, 2000
4. Cha S.H., Sekine T., Kusuhara H., Yu E., Kim J.Y., Kim D.Y., Sugiyama Y., Kanai Y. and Endou H.: Molecular cloning and characterization of multispecific organic anion transport 4 expressed in the placenta. *J. Biol. Chem.* 275.4507-4512, 2000
5. 蛋白質 核酸 酵素 46(5) 583-586,2001

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp